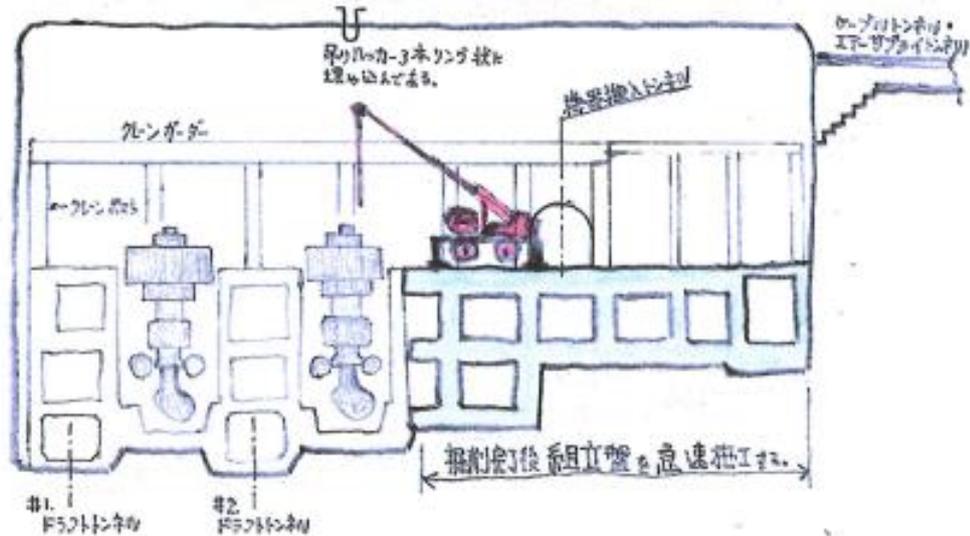
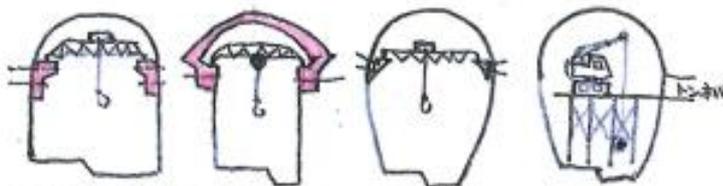


No. 18 地下発電所構築工事の吊り設備について

地下発電所構築工事の吊り設備について — 〇〇_{pu} 発電所の施工例 —



1. 仮設天井クレーン設備・棧橋設備をした例



本設備のクレーン架台と先んずきを盤下に共に埋めこむ。

ア-チコンクリトと斜交コンクリトを盤下前に掘いて、本設クレーン架台を築き上げる。

クレーン軌道管をPSア-ンカーで固定してレールを布設して。

ド-ット盤に棧橋と設備のトラッククレーンで荷吊りを行い、本設構造物に柱脚は移植した。F-1盤完成後残した。

2. 〇〇_{pu} 発電所の施工順序と特徴

- 発電所工事で最重物はトランスであるが 〇〇_{pu} では坑外に変電所を設けた。そのために本設吊り荷重を小さく設計できた。
- 発電機・水車は本設天井クレーン完成後の施工順序になっている。
- 上図 〇〇_{pu} ような「トラッククレーン」使用に構築工事主体である。
- 上図 〇〇_{pu} の吊りルックとトラッククレーン使用に「ドラフトチューブ掘込付」のみである。